



# 楽しんでますか? 「男の子育て」part 2



勝二 俊和さん



長沢 巧さん



田崎 吉則さん

ケートです。将来は暗い、大人になってもいいことがないという回答が多かったのです。楽しく生きていく姿を見せ、早く大人になりたいと思っしてほしいのです。

**後藤** 振り返ってみると、夫婦で息子の少年野球の応援に夢中になったり、子どもががんばっている姿を見ているときは、喜びと幸せを感じますね。中2の娘と映画を観に行くときは、デート気分です。

**高野** うちは同性同士なので、将来一緒にお酒を飲むのが夢です。信頼される父親、いざというとき相談したいと思われたい父親でいたいですね。それには妻に任せきりにせず、夫婦で話しあっていききたいです。

**後藤** 同感です。子どもの成長に関わって、喜びや悩みの場など、その時々々の空気を一緒に感じられるような……。

**富田** 海外にいた時期が長かったのですが、海外では家族の絆が強いと感じました。ほんとうによく話をします。

**高野** 単に仲がいいというのではなく、言うべきことは言い正せる関係でありたいと思います。

## ◆子育てを通して父親も成長している?

**勝二** 子どもができて大きく変わったのは、時間の使い方が

上手になったことです。仕事と子育て、限られた時間の中でマネージメントしなければならぬので。仕事にもこのスキルが通じます。

**長沢** 子どもを通して自分を見つめ直せました。勝手に大きくなったつもりでいたけど、自分がどうやって育てられてきたとか、親との関係なども振り返りました。

**田崎** 長い距離を歩けなかったり、段差につまずいたり、子どもといると弱い立場の人のことがわかるようになりました。

**後藤** 地域で支えあう大切さを知りました。3人目の出産で妻が入院していたとき、上の2人の子どもと私の3人がプール熱にかかってしまい、近所の人、地域のお医者さん、学童保育など、いろいろな方に助けていただき、地域のありがたさを感じました。ふれあいや助け合いなど、人間が生きていくうえで大切なことを子育てを通して学びました。

**富田** とにかく怒らなくなりましたね。怒ってもしょうがない。子どもの世話をしていると忍耐強くなりました。

**高野** 全てが子ども中心の生活に変わり、はじめはゆとりがなく、子どもに鍛えられ成長した気がします。3人目の子育てはゆとりどころか厳しくなりました。

## ◆男性も子育てを楽しめる社会にしていきたい

**勝二** 子育て＝母親という社会の意識があると思います。たとえば書類などに親の名前を書く際、母親の名前のみ書くようになっていく場合があるのです。父子家庭もあると思います。書類などはどちらが書いてもいいような書式にしていくなど、社会を変えるには、形式から変えていくことも大事だと思います。

**長沢** ぜひ、育児休業を取ってみることをお勧めします。自分の経験からインパクトがあり、周囲に与える影響が大きいと思うので。実は社内です。

私初取得者だったので、私が取って以降、何人か取る後輩が出てきました。よく迷惑がかかるから取れないという声を聞きますが、一人くらい減っても会社はなんとかなるものです。最初は迷惑がかかることもあるかもしれませんが、みんなが取るようになれば、夏休みのようにお互い様で助け合ってやれると思います。

**田崎** 父親同士のつながりがあると、もっと変わると思っています。会社でもパ友の飲み会を聞いて、子育て談義をして盛り上がっています。子育ての情報を共有化できる環境がまだ少ないのです。いろいろな場面で情報を交換できる場

を作っていききたい。みなさんもいろいろな所で子育ての話をしてほしいですね。

**後藤** 私の地域には10年前くらいからおやじの会があります。児童館のお祭りの際、おやじの会が焼きそばを作るのが恒例になっていて、そのときは単身赴任している父親も帰ってきて参加するほどです。父親が地域にとけ込むと、ほかの子どもにも目がいくようになります。自然と人とのつながりが深まり、楽しく住みよい地域になるのではないのでしょうか。

**富田** 子育てを楽しみたいという父親は昔からいたと思うけれど、少数派。まだまだ風当たりが強いと思います。私はだっこ紐で子どもを連れて出掛けますが、もっと子育てするお父さんが街に出ていったらいい。父親が子育てしている姿を見かけるようになるとそれが当たり前になると思います。

**高野** 同感です。できるなら父親だつて子育てを楽しみたい。多くの人がそう思っていると思います。一人ひとりにできることは限られているかもしれませんが、個人的には地域とかかわりを増やしていきたいですね。